"由良・白崎海岸"観光まちづくり

現状と課題

- ◆由良町において、観光業は製造業に次ぐ基幹産業
- ◆H20の年間観光入込み客はH10と比較して15%減少(46万人→39万人)し、 特に宿泊客は半減(5.5万人→2.8万人)

「白崎海岸」を核に、観光業、農業、漁業、商業が一体となった町おこし

取組の4本柱(H21~H23)

【事業主体】

由良町、「元気なゆら」町づくり協議会、 (財)由良町観光公社、由良町観光協会、 JAグリーン日高

【活用事業】

わがまち元気プロジェクト支援事業 農山漁村地域力発掘支援モデル事業(国) 新農林水産業戦略プロジェクト推進事業 わかやま中小企業元気ファンド事業 中良町事業

【全体事業費】

24, 195千円 町11,435千円、協議会6,000千円

白崎海洋公園

- (1)由良観光のワンストップ機能整備と運営 〔町づくり協議会、由良町観光公社〕 1,703千円
 - ○町づくり協議会による「観光客への体験型観光・食事・特産品の一元的な窓口システム」の構築
 - ○町観光公社による白崎海洋公園での窓口運営
- (2)由良を体感できる観光資源づくりと語り部育成等 〔町づくり協議会、町、由良語り部クラブ〕 16,353千円
 - ○体験型観光のメニューづくりや、白崎海洋公園での水仙園整備による冬場の観光資源づくり
 - ○町内の観光資源を巡る語り部の養成
- (3)由良の地産地食の料理や特産品づくり

[町づくり協議会、町、JAグリーン日高、由良町観光公社、由良町旅館組合] 4.279千円

- ○地元食材による"由良ランチ"の創作や、"ゆらっ子ジュース"等特産品の開発
- ○食事・特産品マップの作成、白崎海洋公園の店舗充実やネットショップ導入、高速SAでのPR
- (4) 白崎海岸や新たな観光資源を活用した誘客活動

〔町づくり協議会、由良町観光協会、由良町旅館組合〕1,860千円

- ○モニターツアーの実施や、体験型観光を活かした教育旅行の誘致
- ○体験型観光等と連携した宿泊料金設定の見直し



体験型観光(白崎クルーズ) 特産品(衣奈そだち)





目標

H24年度観光客20%増(H20年389,000人→H24年470,000人)により5億円増